

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	角館交流センター管理運営費							
担 当 課 係 名	角館交流センター	課	係	作成者	高 橋 妙 子			
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち			総合計画の ページ			
	基本計画	生涯学習の推進と社会教育施設の整備						
		主要施策	社会教育施設の充実			96		
予 算 費 目	一般	会計	10 款	教育費	5 項	社会教育費	11 目	交流センター費
事 業 期 間	平成 19 年度 ~ 平成			年度	新規／継続の区分			
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☒ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理							
根 拠 法 令 等	仙北市角館交流センター管理規則							
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務							
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☒ 民間委託(全部) ☐ 補 助							

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	・ 市民、市民団体、市の機関、市以外の団体対象
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	・ 市民の社会参加の促進及び自主的地域活動の定着化 ・ 学習、研修相互交流の場 ・ 生涯学習としての場の提供
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	・ 運営に関する業務 ・ 施設管理業務 ・ 利用料金に関する業務

【事務事業の推移】

(単位：千円)

		項 目	単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績
効果	活動指標	利用稼働日数	日		330	
		利用者数	人		35,201	
	成果指標	施設使用料	円		2,188,755	
		その他利用料	円		233,983	
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	20年度決算額
	事業費（人件費を除く）(A)				14,707	
	財源内訳	国 庫 支 出 金				
		県 支 出 金				
		地 方 債				
		そ の 他				
		一 般 財 源			14,707	
	人 件 費 (B)		—		8,071	
		職 員 数	—		1.0	
		職 員 平 均 人 件 費	—		8,071	
		(A) + (B) 投下コスト	—		22,778	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		69,024	
			—		647	
	市民1人当たりのコスト(円)		—		726	

【事務事業の今までの成果】

--

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	・市民サービスの向上と行政コストの縮減を図るため公の施設の管理を民間やその他の団体に委託する「指定管理者制度」を取り入れている市町村が増えている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
B	A	現状のまま継続（実施）	・指定管理者制度の移行にあり、運営・管理面から再検討の上実施
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

- ・築20年以上になるので、維持管理の経費がかかることが予想される。
- ・燃料費の高騰などから市機関の使用に当たっても暖房、冷房料の個人負担があれば、使い方が考慮されると思う。
- ・生涯学習の場として公民館活動等などと密に連携してよりよい場の提供を考えていきたい。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B	稼働率の高い施設であり市民のニーズの多い施設であるが、維持管理を含めた民間委託（指定管理者制度を含む）の導入による財政コストの縮減を図り、今後の事業推進が必要であるとする。

一次評価診断図

